

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 19-003

PDCA	事務事業名	児童センター管理運営事業	部課等名	健康子ども部子育て支援課 育成担当	担当	森田	
					内線等	407	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節：第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策：1. 子育て・子育て支援					
		単位施策：(2) 子どもの健やかな育ちへの支援					
	根拠法令等	半田市児童館条例、半田市児童館管理規則					
	対象・目的	地域住民と交流、連携しながら、児童の健全育成、子育て支援の地域の総合的な拠点として、地域ぐるみで子どもが健やかに育つ環境をつくる。					
	目的を達成するための手段・活動内容	乳幼児や小学生向けの各種イベントや季節行事を開催し、子ども同士の交流を図るのはもちろん、地域のシニア世代やボランティアグループなどと連携しながら、地域で子育て支援活動に取り組むことで、子どもや保護者にとって、安心できる居場所となることを目指す。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①児童センター7館延べ利用者数		153,757	143,164	71,517	人
		②児童センター7館利用児童数		98,353	89,684	45,381	人
		事業費		48,867	39,726	81,345	千円
		人件費		56,746	57,890	59,224	千円
		総事業費		105,613	97,616	140,569	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①利用者1人あたりの児童館運営費		687	682	1,966	円	
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①市内児童1人あたり児童センター利用回数	実績値	4.71	4.38	2.27	回
			目標値	4.5	4.5	5.2	
			実績値				
			目標値				
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	C					
		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は4月・5月の2か月間休館した。利用者数は例年と比べ半減した。施設整備については、夏季の熱中症対策のため、全館の遊戯室に空調機を設置し、児童が安全で快適に利用できる環境を整えることができた。また、講座やイベント等を通して、保護者の交流の機会を図る等、地域での子育て支援の拠点としての役割を果たした。					
		改善推進					
児童センター・館が地域の子育て支援の拠点施設として更に機能するよう、地域の方々やボランティア団体と連携を図り、健全な遊びを通して児童の生活の安定と人格的発達の場となるよう、環境づくりを推進していく。							
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性						
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		※令和3年度からは主要事業とせず。			-	-	